

提供年月日: 平成18年(2006年)8月8日

部局名: 琵琶湖環境部

所属名: 最終処分場特別対策室

担当者名:中村、卯田

内線: 3670

電話: 077-528-3670

E-mail df00@pref.shiga.lg.jp

アール·ディエンジニアリング最終処分場における 廃棄物の埋立状況等確認調査結果について

栗東市小野の(株)アール・ディエンジニアリング最終処分場における廃棄物の埋立状況等を確認するため、平成18年3月に実施しました当該処分場内におけるボーリング調査、および採取したコアサンプル(廃棄物と土が混合した物)と浸出水の分析調査の結果は、以下のとおりでしたのでお知らせします。

なお、今回の調査データとこれまでの地下水等のデータを検討し、課題の整理や対応策の検討に生かしていきます。

記

- 1.調査日 平成18年3月2日から3月24日
- 2.調查実施者 滋賀県 琵琶湖環境部 資源循環推進課
- **3.調査地点** (別添位置図参照)

4地点

·地点 : 処分場中央部西側地点 ·地点 : 処分場中央部東側地点

·地点 : 処分場西市道側法面上部地点

·地点 : 処分場西市道側法面下部北側地点

4.調查内容

(1)ボーリング調査(地点 、地点 、地点)

各地点において、地山と思われる表面からさらに約1m掘進し、地山であることを確認した上で、そこまでのコアサンプルを採取し、次の調査を実施した。

- ・地山および浸出水までの深度測定
- ・深度別孔内カス等調査

深度3m毎に孔内温度と孔内のトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンおよびペンセ゚ンのガス濃度を検知管で測定した。

・コアサンプルの性状確認調査

(2)コアサンプルの分析(地点 、地点 、地点)

全層混合試料と深度別孔内がス調査で揮発性有機化合物が比較的高濃度で検出された深度(検出されなかった場合は最下層深度)の2m分の混合試料について、下記の溶出試験・含有試験を実施した。

- ・溶出試験 総水銀、ベンセン等有害物質16項目
- ・含有試験 総水銀、ダイオキシン類等有害物質8項目
- (3)浸出水分析(地点 、地点 、地点 、地点)
 - ·分析項目 COD 等一般項目の他、有害物質 9 項目

5.調査結果

(1)ボーリング調査

【地山および浸出水までの深度】

地点 地山深さ 23.20m(KBM126.55m) 浸出水深さ 19.20m(KBM130.55m) 地点 地山深さ 20.95m(KBM129.33m) 浸出水深さ 1 21.36m(KBM128.92m) (この浸出水の深さ 1は、地山に穿った穴に溜まった水位。常時浸透水がある という状態ではなかった。)

地点 地山深さ 22.60m(KBM127.58m) 浸出水深さ 19.45m(KBM130.73m) (KBM: 仮ベンチマークのこと。 処分場の ある地点の標高を 151.06mとした時の 相対的な標高のこと。)

【深度別孔内ガス等調査】

地点 の6.0~6.5mおよび9.0~9.5mで揮発性有機化合物(トリクロロエチレン、テトラクロロエチ レン、)が検出された。孔内温度は表層部が比較的低く、全層で23.8~46.5 の範囲であった。

地点 では揮発性有機化合物は検出されなかった。孔内温度は地点 と同様に表層部が比較的低〈、全層で23.1~34.6 であった。なお、12.0~12.5mの19.4 は異常値と思われるが原因は不明である。

地点 では9.0~9.5mおよび18.0~19.45mで揮発性有機化合物(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、)が検出された。孔内温度は同様の傾向であり、全層では28.9~44.5 であった。

【コアサンプルの性状確認調査】

地点 : 全層(深度 0~23m)を通じて、礫、砂、シルト、粘土、レンガ、コンクリート、ビニール、フィルム、塩化ビニール、タイヤ片、ガラス、プラスチック、金属片、木〈ず等が確認されている。深度5~8m付近で異臭が確認されている。

地点 : 全層(深度 0~21m)を通じて、廃棄物等の性状は地点 と同様であった。深度1~14mm付近の全層で異臭が確認された。

地点 : 全層(深度 0~23m)を通じて、廃棄物等の性状は地点 と同様であった。深度8~19m付近で異臭が確認された。

目視による性状確認では、3地点とも特に異常な物は確認できなかった。

(2)コアサンプルの分析

全層混合試料および別途決定した2m分の混合試料について溶出試験·含有試験を 実施した。

なお、2 m分の混合試料の採取深度は、深度別孔内がス調査結果に基づき、地点で5~7m、地点で18~20m、地点で18~20mとした。

ふっ素が土壌汚染対策法に定める土壌溶出量基準(0.8mg/I)を超えて、地点の全層($0\sim23m$)混合試料で1.6mg/I、地点の全層($0\sim23m$)混合試料で1.1mg/Iが検出された。

ほう素が同法土壌溶出量基準(1mg/I)を超えて、地点 の全層(0~23m)混合 試料で 1.2mg/I、同地点 5~7m 混合試料で 1.9mg/I 検出された。

これらの項目以外はいずれの混合試料でも基準値以下あるいは不検出であった。 【含有試験】

鉛が地点 の 5~7m混合試料で 180mg/kg と土壌汚染対策法に定める土壌含有量基準(150mg/kg)を超えて検出された。その他の項目については、同基準を下回っていた。

(3)浸出水分析

CODが地点 、地点 、地点 の浸出水で安定型最終処分場の浸透水の基準(40mg/I)を超えて、それぞれ 86、52、89mg/I 検出された。

ベンゼンが地点 で同基準(0.01mg/l)を超えて 0.013mg/l 検出された。

ひ素が地点 の3過前で同基準(0.01mg/I)を超えて0.014mg/I検出された。

ふっ素は、安定型最終処分場の浸透水の基準は定められていないが、参考のため、地下水の環境基準(0.8mg/l)と比べると地点、地点 および地点 のろ過前後で基準を超えて検出された。

ほう素も、同理由により地下水の環境基準(1mg/I)と比べると4地点ともに基準値を超えて検出された。

6. その他

今回の調査地点 および地点 の2カ所を浸出水を採取する井戸とした。

地山深度・浸出水位深度・深度別孔内ガス調査結果

		文 /不及力:	<u> 北内刀人調車だ</u>		
ボーリ	測定深度	孔内温度	1 トリクロロエチレン	1 テトラクロロエチレン	ベンゼン
ング位置	(GL-m)	()	(ppm)	(p p m)	(p p m)
	3 . 0 ~ 3 . 5	23.8	0	0	0
	6.0~6.5		0.3	0.25	0
11L ⊢	9.0~9.5		0.2	0.15	0
地点	12.0~12.5	44.3	0	0	0
孔口標高 =	15.0~15.5		0	0	0
KBM 149.75m	18.0~18.5		0	0.05	0
143.75	18.7~19.2 浸出水水位	40.5	0	0	0
	<u> </u>	19.20m (KB			
	地山までの深さ	23.20m (KB	M 126.55m)		
	3.0~3.5	23.1	0	0	0
地点	6.0~6.5	27.3	0	0	0
	9.0~9.5		0	0	0
	12.0~12.5		0	0	0
	15.0~15.5	34.6	0	0	0
孔口標高 = KBM 150.28m	16.9~17.5	31.8	0	0	0
100.2011	21.0~21.5	31.6	0	0	0
	浸出水水位 2	21.36m (KB	M 128.92m)(途中	Pの6.8mおよび17.45mで	田水あり)
	地山までの深さ	20.95m (KB	M 129.33m)		
	3.0~3.5	28.9	0	0	0
	6.0~6.5		0	0	0
±ы.±=	9.0~9.5		0.2	0.1	0
地点	12.0~12.5	44.5	0	0	0
孔口標高 =	15.0~15.5	44.0	0	0	0
KBM ""	18.0~18.5		0.25	0.25	0
	19.0~19.45	44.0	0.5		0
		19.45m (KB	<u>// 130.73m) (途中</u>	の6.94mで宙水あり)	
	地山までの深さ		M 127.58m)		

1:検知管測定のため、1,2-ジクロロエチレンがあれば含んで検出される。 2:この浸出水水位は、ボーリング掘削後に地山に掘られた穴に溜まった水の水位であり、常時浸出水が 溜まっている状態ではなかった。

ボーリングコア溶出試験結果

7 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	地点 地点		地,		地,	点	土壌汚染対策法に定
	GL-0~23m	G L - 5 ~ 7 m	G L - 0 ~ 2 0 m	G L - 18 ~ 20 m	G L - 0 ~ 2 3 m	G L - 1 8 ~ 2 0 m	める土壌溶出量基準
1,2-ジクロロエタン	< 0 . 0 0 0 4	< 0 . 0 0 0 4	< 0 . 0 0 0 4	< 0 . 0 0 0 4	< 0 . 0 0 0 4	< 0 . 0 0 0 4	0.004
1 , 1 - ジクロロエチレン	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	0.02
シスー1,2 - ジクロロエチレン	< 0 . 0 0 4	< 0 . 0 0 4	< 0 . 0 0 4	< 0 . 0 0 4	< 0 . 0 0 4	< 0 . 0 0 4	0.04
ジクロロメタン	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	< 0 . 0 0 2	0.02
テトラクロロエチレン	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	0.01
1 , 1 , 1 - トリクロロエタン	< 0 . 1	< 0 . 1	< 0 . 1	< 0 . 1	< 0 . 1	< 0 . 1	1
1 , 1 , 2 - トリクロロエタン	< 0 . 0 0 0 6	< 0 . 0 0 0 6	< 0 . 0 0 0 6	< 0 . 0 0 0 6	< 0 . 0 0 0 6	< 0 . 0 0 0 6	0.006
トリクロロエチレン	< 0 . 0 0 3	< 0 . 0 0 3	< 0 . 0 0 3	< 0 . 0 0 3	< 0 . 0 0 3	< 0 . 0 0 3	0.03
ベンゼン	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	0.01
カドミウム	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	0.01
総水銀	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	0.0005
鉛	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	0.01
ひ素	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	0.004	0.001	0.006	0.01
ふっ素	1 . 6	0.33	0.36	0.46	1 . 1	0.51	0.8
ほう素	1 . 2	1 . 9	0.3	0.2	0.3	0.4	1
PCB	N D	N D	N D	N D	N D	N D	検出されないこと

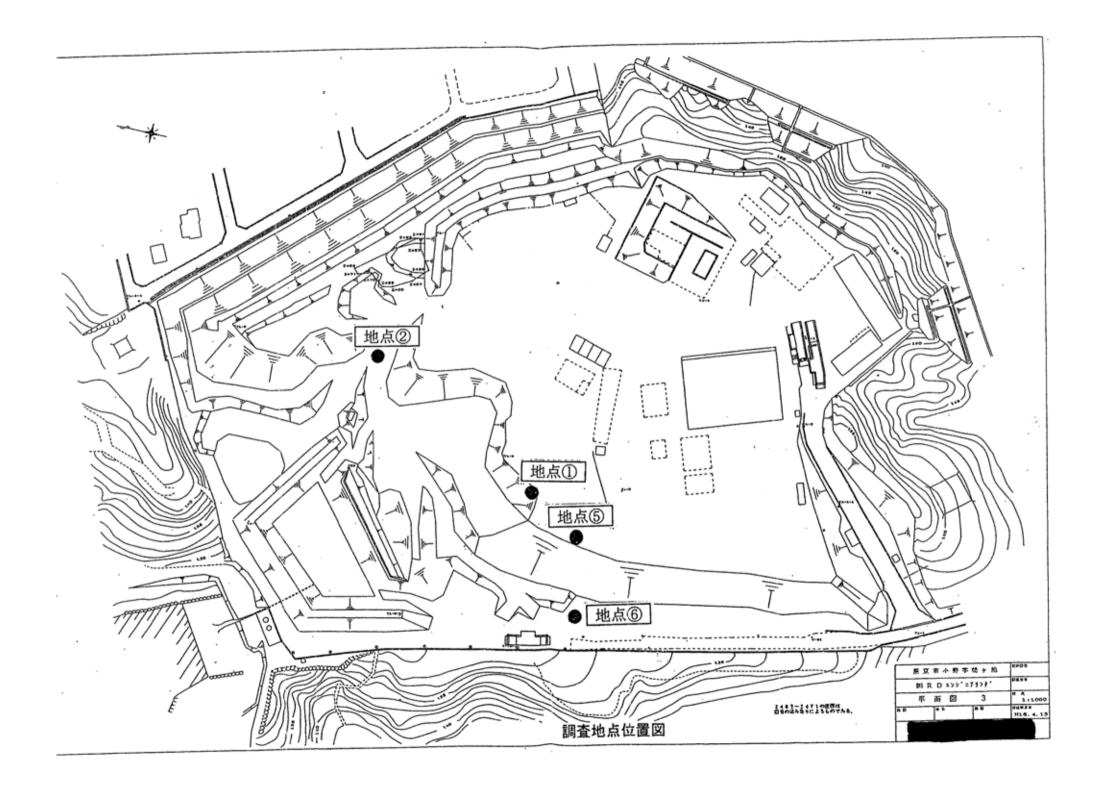
ボーリングコア含有試験結果

<u> </u>	コーコログラス かロント							
		地点	ўш	地点	77.	地点	ZUT	土壌汚染対策法に定
		G L - 0 ~ 2 3 m	G L - 5 ~ 7 m	G L - 0 ~ 2 0 m	G L - 1 8 ~ 2 0 m	G L - 0 ~ 2 3 m	G L - 1 8 ~ 2 0 m	める土壌含有量基準
カドミウム	(mq/kq)	< 1.5	< 1.5	< 1.5	< 1.5	< 1.5	< 1.5	1 5 0
総水銀	(mg/kg)	< 1 . 5	< 1 . 5	< 1.5	< 1 . 5	< 1 . 5	< 1 . 5	1 5
鉛	(mg/kg)	1 1 0	180	120	6 3	9 6	7 2	1 5 0
ひ素	(mg/kg)	3	3	4	3	2	5	1 5 0
ふっ素	(mg/kg)	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	4000
ほう素	(mg/kg)	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	< 4 0 0	4000
PCB	(mg/kg)	0.46	0.22	0.57	0.42	0.26	0.40	_
ダイオキシン類	(pg-TEQ/g)	9 5	3 1	5 1	1 5	3 7	2 8	1000

浸出水の水質分析結果

		地点		地点		地点		地点	ŗ.	安定型最終処分場の
	単位	ろ過前	ろ過後	ろ過前	ろ過後	ろ過前	ろ過後	ろ過前	ろ過後	浸透水の基準(mg/l)
Нq	_	8.4	_	7.4	_	8.0	_	7.7	_	_
BOD	mg/l	1 1	_	2.5	_	8.8	_	9.7	_	2 0
COD	mg/l	8 6	_	5 2	_	8 9	_	2 2	_	4 0
SS	mg/l	7 1	_	7 2	_	5 3	_	3 2	_	_
電気伝導度	mŠ/m	200	_	147	_	2 1 3	_	227	_	_
トリクロロエチレン	mg/l	< 0 . 0 0 3	_	< 0 . 0 0 3	_	< 0 . 0 0 3	_	< 0 . 0 0 3	_	0.03
テトラクロロエチレン	mq/l	< 0 . 0 0 1	_	< 0 . 0 0 1	_	< 0 . 0 0 1	_	< 0 . 0 0 1	_	0.01
シスー1,2.ジクロロエチレン	mg/l	< 0 . 0 0 4	_	< 0 . 0 0 4	_	0.006	_	< 0 . 0 0 4	_	0.04
ベンゼン	mg/l	0.002	_	0.013	_	0.002	_	< 0 . 0 0 1	_	0.01
総水銀	mg/l	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	< 0 . 0 0 0 5	0.0005
鉛	mg/l	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	0.008	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	< 0 . 0 0 5	0.01
ひ素	mg/l	< 0 . 0 0 1	< 0 . 0 0 1	0.014	0.005	0.001	< 0 . 0 0 1	0.003	< 0 . 0 0 1	0.01
ふっ素	mg/l	1.4	1 . 4	0.85	0.85	1.3	1 . 2	0.56	0.45	(0.8)
ほう素	mg/l	4.9	4.8	2.1	2.1	5.5	5 . 2	2.2	2.2	(1)

注:安定型最終処分場の浸透水の基準欄でふっ素、ほう素については地下水の環境基準値を記載した。



ボーリング柱状図

調 査 名 平成16年度第6号産業廃棄物最終処分場廃棄物埋立状況等調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

	_					争 釆	Ė	_	4	10			-	-		_		_	_	_	_	-	-		_			シー	l-Ne.			_	_	_	_
-	リン	グ	名			地	点(D		調査位	置				_		选引	賀男	果	東市	小	野地	先					北	1	3 5	5.	1'	2 1	. 5	; •
2	ŧŧ	选	関					-		琵琶湖環境	部				_		明階	+	成	18年	E 3,5		日 ·	~ 18	年	3月 1		東		圣 1 3	6.	1'	1	8.	4
査	業	者:	8			刊地 1 話 (o				357) 主任技					現代	理	· 均					盤	定	ア者				ボー			=			\$	
(3 4	票	高	KBM 149.7		角	上	∑ 91		270 1t. 0°	地盤	水	F 0.	使用	試	1	機	ŧ.			YB	4 - 0	5			ハンマ 落下用			-	- ン :	ナー	y.	一法		
1	Œ ;	進	長	24.0)Om	度	F.	7		180 南	盤勾配	给了		用機種	I	ン	ジン	1		t	ソマー	NFI	0 - 9		:	ポン	プ								
Т	- 1			1	. 1	. 1						_		A.T		_				-							1_						- 1		Τ.
	標	屉	深	Į ŧ	E	±	色	相	相	28			1	ħL	深 10	200	. + 0	-	標	華	貫力	\ F	X 2	*	_					試 粉		_	-	室内	3
1				1.		Ħ		対	対	340			1	(立 (立 (m)	- 1		回数	ē				N		値			探	1000	験じて	結果	PI			試験	1
	高	厚	度	1	*	区		密	棚				١.	1	皮(1	0 20										度	1		`	度		取	^	,
	, ,	, ,	١,			^	em		m				1:	定日		1		1 2							17						II.,	200	方		١
4	(m)	(m)	(m) E	· . 4	分	調	皮	度	サ CL-0.65mまで確定り ンガ、コンクリート	砂を呈	L. L		B ((m) 1	0 2	0 30	(cm	1		10	20	30	1	0	50 6	(m)	1		/	/ (m)	号	法	_	ļ
,				1.	:/	死	塘			ンガ、コンクリート 提入 D.65m~0.75m間、フ		2-15 200		1						<u>. </u>															١
				:\	V :	築物混	庆~			む 0.75m~2.60m間、シ り、木片、ビニール	ルト名	〈提	-																						١
2					\mathbb{N}	b ±	茶袍			リート、						1						1					1		•••••		1				١
3	146.25	3.5	』.	50	: /	5 0	132	1		リート、 金属片混入する 以際、砂を混入する スレート片、ビニー ロー2、20m~2、35m間;	ル片混木片提入	4								-	+	+	-			-	2.00		715.5 8°C	測定…	-				١
4	145.55	Г	T	.20		廃棄土	100	T	\vdash	ō		\neg								- 4	_	_					3,50								Ì
				1	/	69	灰	1	\vdash	GL-4.20m~付近より 進不能となる。	金属に	当り掘																						i i	Ī
5			1	[:]		楽	10			含水少ない																	1	"			1			÷:	١
6			1	:	X :	他提	天?			コンクリート、木片 金属片、ビニール、 く混入	、タイ レンガ	十片、 片等多				1			ŀ	\vdash	+	+	-		-	+	6.00		118.6 8°C	读声:	-		П		
7				1		生	既			元内温度高く異臭ま	· 9.					1	1		-	_	_	_	_				6.50								
	142.2	5 3.	30	7.50		100	+	t	+			-																				1			1
8				1		廃															T						1			,					١
9				1.3	\mathbb{V}	勢物	æ		1	孔内復度高く異臭る ビニール、コンク! ガ、ガラス、ブラ	12 h.	22.					1			\vdash	+	+	-		-	+	9,00		为证点	南定"	-				1
10				1:	M٠	没り	灰			ガ、ガラス、ブラス く提入 所々、金属片点在で		万等多								_	1	4				-	9,50								
						世										-																			١
11	138.2	25 4	.00	11.50			+	+	+							-					T						1			•••••	"				
12			1	1		晃											1		1		+	+	-	_	-	+	17,00	J Kri	30	度測定"		1			
13				1.7	\ <i>\</i>	素物				ビニール、硬質プリンガ、ガラス金属	ラスチット多く指	ク、レスナる									+	4			_	_	12.50	П							
				[:	X :	提り	E			GL-13、25m~13、50m GL-14、60m~14、90m 砂混りシルトを挟む	阿淡黄	灰色の				1			1																
14	1				/·\	土砂				砂流りシルトを挟む。 SL-15、40m~15.50m トを挟む。	呵コン	クリー																	*****	*******					
1	134.	25 4		15.50	!::\															-	+	+			-	-	15,00	1 HC	ウ温度 のC	支測定					
1	133		.50	16.00		展棄	地 月		T	GL-15.40m~16.00m 上主体	間コン	クリー								_	_	4			_		15.50	П	Series Page		_	1			
			1		X	廃棄 混り:		-	\dagger	水片、ビニール、 クリート片等混入	ダイルドする	f、コン	1					İ							ĺ										
1	132.	.50 1	1.25	17.250		A		+	+	砂視り粘土を呈す	-	_	1						1								1	"	•••••						
1	8		1	l.	\ ://	廃棄				木片、ビニール、	コンク!	リート、							1	-	+	+		-	-	+	18,00] HC	内温度 8℃	美洲定"					
1	9			Ė	: <u>W</u> :	物 提	1 "	世		ガラス片等混入 ユー18.30m~18.40 ラスチック混入				19,20				1			_				_	1	12:30	FL	内证的	支侧定		1			
			1	į.	//	± ±				CL-19.50m付近より 機状。) 水分多	く、砂		-													19.20	1							
2	129	.25	3,25	20.50	/···	₽		1	_				1								\top	7					1	-							
2		25			X	廃棄 に 説り	世 !	天		含水多い ビニール、塩化ビ リート、ガラス片	ニール、	コンク								\vdash	+	+		_	-	+-	-	-				1	İ		
2	2 128	.25	1,00	21.5d		/ 廃棄	物	g.	+	粘土混り砂機が主			1																	0.0244		İ	İ		
-		.05	1.20	22,70		促り	I I	×		を多く混入する。																		1							
2	3 126	5,55	0.50	23.20	\geq	原業	和并	厌	-	パト質粘土が主体 る。t=パ片を提 パト質粘土が主体	入する。		1							-	+	+	-		-	+	-	-							
2	4 125	5.75	0.80	24.00	:,2	型 砂根 粘土		茶灰		少食の砂を混入すである。	8. H	(287±7)	a a							-	_	-			-	-	4								
						1		1	+	私性はやや強く。	enr	<i>5</i> 5.	1															4							
	25	-1	- 1	- 1			-						1								1	-					\dashv	11.			Can.	1	1	1	-1

ボーリング柱状図

調 査 名 平成16年度第6号產業廃棄物最終処分場廃棄物埋立状況等調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートル 地点② 調査位置 ボーリング名 滋賀県栗東市小野地先 北 練 35 1' 24.1' 調査期間 平成 18年 3月 15日 ~ 18年 3月 23日 経136 1' 20.4 注 機 関 東 応用地質株式会社 電話 (06-6885-635 推 (06-角 180 上 下 ボーリング 7)主任技師 調査業者名 鑑定者 代理 責任者 ☆ 本平 0 270 年 第 地盤勾配 ハンマー 方 使 試錐機 口擦高 YBM-05 71 コーンプーリー法 用機種 150.28m 90° 落下用具 エンジン 総 掘 進 長 22.00m 127-NFD-9 ポンプ 向 180" 南 孔内水位 色相相 標 摽 屆 深 柱 ± 53 標準貫入試験 原 位 置 試 験 試料採取 室内試験 探 10cmごとの 打 整 試 験 名 試 採 打撃回鉄 型数 度 0 10 20 / 2 2 1 2 入金 (m) 10 20 30 (cm) 質 対対 進 N 値 および結果 (m) 尺 高 厚 度 状 料取 / 測定月 度 度 区 密 稠 月 퓹 方 図 分 201 度度 事 (m) (m) (m) (m) B 믕 (m) (m) 法 - 5年製養シ ンルトが主体である。全体に砂を混入する。 粘性はやや小さい。 黄褐 149.83 粘土提り砂礫が主体であるが、局 所的には廃棄物が主体となる。 と"ニート樹脂、木片、金属片、ま"53人 片、コングラー、レグ、片等が不規則に 混入する。 全体に異臭が強い。 廃棄物提り土 孔内谋度测定· 23.1℃ 黑灰 GL-6.0m以際は、コンリラート、金属 片、ガラス片、t *ニーナ樹脂、等を多 く 混入する。 GL-7.00m--7.50mは粘土分が多 く GL-6.50m-7.50m間は、合水 か多い。 全体に異臭が強い。 3/16 6,80 廃棄物提り 141.2 化内温度测定· 30.6℃ 粘土質砂理一砂質シットが主体で、 炭薬物が多く退在している。 炭薬物は、コンタラート, レンダ片、 ニート刺脂、塩化ピニート片、ダウス 片、金属片等 含水は、少ない、全体に異臭が強 10 棄物混り 11 灰 12 孔内但皮测定 19.4℃ 13 粘土提り砂膜が主体であるが、局 所的にかけ分が依勢になる。 全体に廃棄物を混入するが、その 提入量は上側に比べてやや少な 廃棄物混り土 15 い。 廃棄物は、ピニーメ樹脂、コンクリート片 が主体で、所々に木片、ダラス片を 退入する。 黑灰 15.50 16 17 1725 孔内温度测定 31.8℃ 17.50 ジナ質記土が主体である。 粘性は 中位程度である。 痰薬物は、塩化ビニー・片を混入す <u>るが、能入食は少ない。</u> 粘土性り砂度が主体である。 含水 は、中位程度ある。 痰薬物は、シグリー片、ビニー・樹脂 が主体である。 廃業物 提り粘 培青灰 19 廃棄物 混り土 砂 2 20 灰 129.3 쌼 21 かり質粘土が主体である。 粘性は やや少ない。 節分的に固結しており、 研質であ 化内温度测定 31.6℃ 21.50 22 128,28 24

ボーリング柱状図

調 査 名 平成16年度第6号產業廃棄物最終処分場廃棄物埋立状況等調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNa

シートル ボーリング名 地点⑤ 調査位置 北 4 35 1' 17.5 発 注 機 関 **遊賀県琵琶湖環境部** 調査期間 平成 18年 3月 17日 ~ 18年 3月 25日 東 経136 17.47 応用地質株式会社 電話 (06-6885-63 調査菜音名 主任技師 ボーリング 270. 第 90. 14 The same 鑑定 KBM 180° 地盤勾配 爺木平 0· 責 任 者 孔 方 高 試 錐 機 Y B M - 0 5 150. 18 用機種 コーンプーリー法 落下用具 総 掘 進 長 24.00m エンジン †ンマーNFD-9 ポンプ 標 標 歷 深 柱 \pm 色相相 孔内水位 53 標準貫入試験 原 位 置 試 験 試料採取 室内試 深 10cmごとの 打 試 験 質 名 対 対 滦 深 採 打草回数 中国数/貫入量 N 尺 습 進 高 厚 度 状 (m) および結果 驗 度 0 10 20 料 取 区 密 稠 测定月日 度 度 月 1 1 1 番 方 (m) (m) (m) (m) × 分 調度 度 牽 (m) 10 20 30 (cm) (m) 믕 B (m) 法 突 粘土提り砂礫が主体で、廃棄物を 多く提入する。 新物混り土砂 歩い 成人する。 廃棄物は、主にピニート樹脂、 プラステックト、木片、鉄、コンクリート片 である。 ロー2.5m付近に宙水が認められ た。含水は、やや多い。 黑灰 化内温度测定 28.9℃ 粘土提り砂礫が主体であるが、 CL-5.50m~8.00m間は廃棄物が主体である。 スー5.50m~8.00m間は廃棄物が主体である。 以上5.50m~8.00m間は非常に扱い 状態である。 棄物説り土砂 黑灰 状態である。 廃棄物は、主にピニー・樹脂、 アラスチックド、木片、金属片、 アンタラート片である。 全体に比較的含水が多く、 GL-6.94eで音水が終められた。 1/21 私土族り砂棚が主体である。全体 に廃棄物を進入する。 以-8.50m付近より含水が少なくなる。 廃棄物限り土砂 黒灰 の 廃棄物は、主にピニール樹脂、 コンクラート片、鉄筋である。 異臭が強 10 所々にプラスチック片、木片を提入する。 11 12 粘土混り砂機が主体であるが、局 所的に粘土分が卓越する。 全体に廃棄物を混入するが、上部 に比べて混入量は少ない。 異臭が ある。 13 12.50 14 15 厌 9 16 15.50 + 17 18 19 12/24 孔内温度测定… 灰薬物が主体である。 マトラッナスは粘 土張り砂硬である。 灰薬物は、主にピニーサ、・プラステッタ 片、木片、>ンクラート片、全属片であ る。 廃棄物 提り土 砂 20 129,18 21 廃棄物が主体である。Tトラックスは粘 土提り砂礫である。 廃棄物 馬灰 近無物は、主に木片、コンナリート片、ゴム、ブラスナッド である。 22 23 黄东灰 /#/質粘土が主体である。比較的 均質である。 24 126.1 粘性はやや少なく、硬質である。 74 25